

nouvelle Fontaine

発行日 2018年10月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email:fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

子どもたちによるオペレッタ ヘンゼルとグレーテル

オペレッタってなあに？ オペラやミュージカルとどうちがうの？～

関西二期会・堺シティオペラ
岸和田文化事業協会理事

角野芳子

「オペレッタ」という言葉を聞いたことがありますか？音楽と演劇を融合した舞台芸術のひとつです。ではこのオペレッタ、オペラやミュージカルとどう違うのでしょうか？

オペレッタは日本語で「喜歌劇」。その名の通り喜劇的な内容で、音楽も軽く「小歌劇」「軽歌劇」と言われることもあります。19世紀半ば、貴族の楽しみだったオペラを庶民にも楽しめるようなコメディにしたものがオペレッタです。舞台はセリフで進行され、もちろん歌もあり、オーケストラ、時には小編成のオーケストラで伴奏されます。軽妙な筋書きは笑いを伴いダジャレも多く、分かりやすくいうなら吉本新喜劇のようなものでしょうか。

私は今から25年前、初めてウィーンの劇場「フォルクスオーバー」でJ.シュトラウスの「こうもり」というオペレッタを観たのですが、ドイツ語の上演にも関わらずセリフの言い回しが非常に面白くて、大声を出して笑っていました。笑いは世界共通なのですね。肩肘張らずに気軽に観られる、それがオペレッタです。前述の「こうもり」「メリー・ウイドウ」「天国と地獄」などが代表的な作品です。

一方オペラは日本語にすると「歌劇」で、16世紀末のイタリアで生まれました。貴族の間で流行し、文字通り歌と劇で構成されます。内容は悲恋もの、病死ものなど悲劇が多く、ほとんどのヒロインは悲しみのあまり発狂「狂乱の場」と言われるその場面が、一番の見せ場となることがあります。セリフはすべて歌で語られ、音楽の伴奏は多くがフルバージョンのオーケストラです。オペレッタと違い格式が高く、上演中客席でガサガサしようものなら隣の人に睨まれてしまいます。「フィガロの結婚」「蝶々夫

人」「椿姫」などがよく知られています。

そしてミュージカル。ヨーロッパからアメリカに伝わったオペレッタが20世紀に発展したものです。歌と踊りが中心の歌劇で、オペレッタに似ています。ポピュラーな音楽と内容で日常的な題材も多く見られます。日本では劇団四季が有名ですね。「CATS」「ライオンキング」などロングランにも関わらずなかなかチケットが取ることができないのは、たくさんの人が気軽に楽しめるからでしょう。他にも「コーラスライン」「オペラ座の怪人」「レ・ミゼラブル」などは皆さんよくご存知のことでしょう。

音楽を伴うお芝居はこのように形は違うものの娯楽として、また優れた芸術として、様々な時代の人々に愛されてきたのです。

今回自泉会館で、誰もが楽しんでいただけるオペレッタを上演する運びとなりました。出演はオーディションで選ばれた子どもたちです。歌、ピアノ、バレエと、それぞれの分野で練習に励んでいます。心地よい空間で楽しく愉快的な時間を過ごしてください。もちろん子どもたちの応援も、よろしくお願いいたします。

子どもたちによるオペレッタ ヘンゼルとグレーテル

日 時：平成31年1月27日（日）

午後2時開演（30分前開場）

会 場：岸和田市立自泉会館ホール

入場料：1,000円

問い合わせ：

岸和田文化事業協会 ☎072-437-3801

岸ぶら編集長 渡邊 隆(大阪市梅田在住)



“同級生飲み”に居合わせて。

夜の会議まで時間があり、チョイ飲みしようとして岸和田駅前の小さなお店へ…引戸を開けると、六人だけのカウンター。しかも、歴戦の猛者とみられる世話人さんたちが五席を占有。さて残りの一席、入口側、端に灰皿が山積みになった席に座るかどうか…。しかし引戸を開けた手前、後戻りは不可能。「よろしか?」とご挨拶し、肩身の狭い状況で座らせていただく。

世話人さんたちはどうやら〇町の〇〇会で、第三金曜はこの店で…といった岸和田特有の“同級生飲み”と考えられる。正面の大型テレビに映る阪神中日戦は音声なし。

肩が触れる距離なので…カウンターのお母さんは、私も同級生と勘違いし、肉ジャガなど世話人さんと同じ付き出しを並べた。

カウンター越しに、やんわりお断りすると「兄ちゃんそれはサービスしといちゃるわ」と、正直予測できた世話人さんの一言あり。感謝の意を伝え、これ以上のご厚意は不要でとお伝えすると、また、予測通り引戸端席の私は山積みされた灰皿と同じような、どうでもよい物体に戻った。なお、生ビールをお願いして…皆さんの乾杯にあわせて、同じように当方だけは黙して乾杯。

仲よし世話人五人組、何よりも会話がおもしろい。一つの話に五人が反応して会話が弾むのだ。低迷する阪神監督批判を主軸テーマとして…30~45秒おきというハイペースで別の話題が入っていく。

今年のまつりの話題はもちろん何度も。そうかと思うとガザ地区の衝突の件、TPP、種子法改正の件、IPS細胞の件、トランプ政権、米国防規制についてと国際的な話など。また、

新市長に対する要望や将来のまちづくりまで…守備範囲は広く現実課題テーマである…活字にはできないような猥雑なオチがついたりするが。

話題の合間に「ロサリオでんでんあかんやんけ」と阪神ネタも、岸和田ことばで気持ちよく流れ跳び魅惑的だ。芸能ネタや孫自慢、ご健康ネタがお好きな大阪市内の飲み屋でご満悦の好々爺と異なり、男前なのである。

1時間が経ち、灰皿だった私は礼を述べて勘定を済ませて退席。「おー会議がんばってきよ〜」と背中にエール。引戸をしめてお店を出ると、ポカポカする温泉を後にする気分だった。「同級生飲み」……岸和田の大切な宝である。



渡邊 隆 (わたなべ たかし)

有限会社ピューパ 取締役社長
岸和田市観光振興協会公式サイト 岸ぶら編集長

1965年、大阪市生まれ/梅田在住
2007年、岸和田市観光振興計画策定協力後「岸ぶら」編集長を務める
大阪府では堺市、東大阪市、島本町、阪南市ほか京都府、奈良県、兵庫県などにおいても交流を主眼としたまちづくり観光を推進している



めざせ！ 岸和田マイスター

【城下町編Ⅲ】

監修：江間 一夫

豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ！岸和田マイスター」。今回は、城下町《川・橋》編です。

1 紀州街道で城下の北端の橋は？

- A 新橋
- B 大神宮橋
- C 勘太夫橋

2 紀州街道で城下の南端の橋は？

- A 寺前橋
- B 岸見橋
- C 城見橋

3 北町と並松町の境界の川は

- A 魚ノ棚川
- B 庄兵衛川
- C 菊右衛門川

4 古城川の最下流の橋は？

- A 欄干橋
- B 砂町橋
- C 船津橋

5 天性寺と梅溪寺の間を流れる川（水路）は？

- A 清水川
- B 鯉川
- C 寺前川

6 東大手門跡前で古城川に架かる橋は？

- A 茜屋橋
- B 城見橋
- C 清右衛門橋

7 北町と魚屋町の境界の川は？

- A 寺前川
- B 古城川
- C 菊右衛門川

8 岸和田城隅櫓前にある親柱はもと何橋？

- A 古城橋
- B 東雲橋
- C 六反田橋

9 北町会館入口にある親柱はもと何橋？

- A 永守橋
- B 欄干橋
- C 菊右衛門橋

10 「石の[]ドンドと踏めば憎や雪駄の緒が切れる」この俗謡の[]に入る橋名は

- A 欄干橋
- B 六蓮橋
- C 菊右衛門橋



※解答は、7面に掲載しています。

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

福祉から届ける文化

vol.1

「朗読ボランティア ひばり」

『録音図書』をご存知ですか？視覚障害や文字を読むのが困難な方々のため、耳で聞いて読書できるよう朗読し録音したものをいいます。岸和田市にその活動に取り組んでおられるグループがあると聞き、お話を伺いました。

『朗読ボランティアひばり』は、男女合わせて現在51名。今年37年目を迎え、福祉総合センターを拠点にしています。1年おきに開かれる市の朗読ボランティア養成講座の修了を参加条件とし、録音図書や市の広報など声のお便りの製作、希望者への対面朗読、老健施設での朗読が主な活動です。

皆さんに始めたきっかけを伺いました。空いている時間を充実させたいと現役でお仕事をされている男性。女性陣は社協便りの記事を見た。本が好きだ。ボランティアをしたかった。孫に上手に絵本を読んでもあげたいと理由は様々でした。

音訳は抑揚をつけずに淡々と読んでいくのが大事。自身の主観や感情で聞き手のイメージを左右しないよう気を付けているそうです。相手に届けるため中身をしっかりとつかむ。長時間聞くので無理のない発声で力を抜く。元アナウンサーを講師に勉強するが、アクセントや武家言葉のような歴史的語彙は難しい。各自が自宅で録音するので生活音（時計、冷蔵庫、電話、ペットの声）などノイズの処理が大変。ルビのない固有名詞は読み方を調べるのが一苦勞（『懿子』読めますか？）といったお話が次から次へと飛び出してきました。ひとりが音訳し録音したものに2回の校正が入り、15分程の記事で2時間、300ページの物語だと最短で3か月、時には1年もかけて完成するのだそうです。また以前はしていなかった写真や絵の多い本、そして絵本の説明にも最近は取り組んでおられます。絵本や挿絵の表現は個人の感覚を頼りにするので同じ作品でもずいぶん違う説明になりがちなのを、ばらつきのないようによく話し合い進めていくことを大切にしている。文章そのままを音



読するだけでなく、耳だけを頼りに文字を読む方への細やかな心配りに頭が下がりました。こうして出来上がった音訳図書は、サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）を通じて全国につながり、もちろん岸和田市立図書館でも借りることができるのです。

現在活動の大部分は音訳図書の作成ですが、対面朗読がもっと増えてほしいとおっしゃいます。対面朗読は公の場所でなければできないなど制約があり、実際に利用されている人はごくわずか。外出の困難な方々がもっと気軽に利用できるようなシステムになってほしいとの、メンバーの強い願いでした。

お話の中で、朗読を録音するボランティアだとは思わなかったと度々伺いました。自身の楽しみから他者への奉仕へ。形が違うのに続けてこられたのはなぜでしょう。対面朗読で喜んでくれた姿が忘れられないという方がいました。誰かのためになる、喜んでもらえる。それは人にとってとても大きな力になるのかもしれませんが。福祉の面からハンデを持つ方々へ届ける文化はこれまで関わってきたそれとは異なるアプローチでしたが、たどり着くのはきっと同じ所。このすそ野をさらに広げてほしい。誰もが豊かな文化を享受出来る社会のため、私たちもその一端を担えたらと考えさせられました。

（文責：小末 もとえ）

ガラスの輝きに魅せられて

vol.2

「ステンドグラス製作 サンクラブ」



作業をしている様子



北斎の富岳三十六景神奈川沖浪裏のパーツ



作品の数々



「ガラスのカットや研磨の最中、あと少しのところまで割れてしまったり、型にぴったりはめ込むのに何度もやりなおしたり。時にはガラスで手を切ることもあるけれど、作りたいものを見つけて作っていく作業はとても楽しい。型どおりはまった時は本当に嬉しい」

東岸和田市民センターでステンドグラスのクラブを取材しました。

大きなドーム型あり、額縁あり、球体あり。皆さん熱心に作品に取り組んでいらっしゃいます。そんな中、クラブ創設当初から在籍の女性と、先生以外ただひとりの男性にお話を伺いました。

サンクラブさんは東岸和田市民センターの講座として始まり、その後クラブとなり20年余りを経て今日に至っています。現在メンバーは12名。岸和田市吉井町でステンドグラス工房と教室を主宰している穴瀬順一先生が指導なさっています。

最初に作品製作の工程を教えてくださいました。デザインが決まると、作品の命ともいえるガラス選びから始めます。色の濃淡によって作品が決まるので慎重に、けれど楽しい作業とのこと。次にデザインの型紙を貼ったガラスをカット。それぞれのパーツを型紙どおりの形になるまで研磨し、周囲をカッパーホイルテープという銅のテープで巻く。こうしてできたものを型紙の上に並べ半田付けし、作品を仕上げていきます。

と素敵な笑顔で話してくださいました。作品を作る他にも、テレビドラマなどの背景に映るステンドグラスを見つけるという楽しみもあるのだとか。お話の中で何度も『楽しい』という言葉聞いたのですが、そんな皆さんの心弾みが部屋のそこここから感じられました。

作品は2年に1度、先生が指導する他の教室と合同で開く作品展で拝見できます。次回は平成31年1月18日（金）～20日（日）、浪切ホール多目的ホールで開催されます。「光が入るとまた違った表情になるんですよ」とのこと。見せて頂いた製作途中の作品がどんなふう輝くのか。今から作品展が待ち遠しくなりました。（文責：小末もとえ）

ステンドグラス製作 サンクラブ

東岸和田市民センター 毎週水曜日 9:00～12:00
【講師の穴瀬順一先生】

ステンドグラス工房・教室 スタジオ」を主催
工房の他に岸和田市内と泉佐野で指導



Ichigo-Ichien

【岸和田でピアノと共に】



赤井 よし子

～好きなもの～

淡路島に沈む夕日

村雨食べ比べ

くるみ氷

新たまねぎ 筍 水ナス 菊菜 桃

何でも握りにしてくれる鮓屋の大将

我が家よりも家庭的なお料理ママのいる店

フルーツカクテルの美味しいバー

窓から見るお城とラピート

海側旧市街の瓦屋根 薨の波

山手のおおらかな自然 家並み 清流

バルテノン神殿かと勘違いする浪切ホール

ミニ鹿鳴館のようで素敵な自泉会館

マドカホールのベーゼンドルファーインベリアル

等々

こちらのしきたりに従って、うん十年前にトラックに載せた箏笥と紅白のりぼんを掛けたグランドピアノもやって来ました。

泉州はラテン大阪！ある作家が書いてましたが、まさに太陽は眩しく、お祭りに出かける若人はヒップホップやレゲエ音楽鳴らして楽しそう！

どうなることやら!?!?と思いつつ、この地でピアノを弾き続けています。

ご縁のある生徒さんの指導もさせて頂き、発表会やコンサートは、天井が高くて響きの良い自泉会館。

—好きなものNo.1は、やはり自泉会館でしょうか。何はともあれクラシックを弾き続けていってくださいね。クラシック好きな人、仲良くしてくださいね。

【謙虚さが無くなる 14 の兆候】



新川 妙子

初めまして自泉会館の会員の皆様！この度自泉会館の事務員として又会員として皆様のお仲間入りをさせて頂くことになりました新川妙子です。

この3月までは文化とは程遠い生活を送っておりました。

でも古い建物が大好きで機会のある時は建築物の見学に行っております。

かなりのおっちょこちょいであわてんぼうです。

そんな私が毎日自問自答しながら以下の兆候が出ないよう自泉会館で頑張っています。

もしこの様な兆候が新川にでてまいりましたらご注意ください。

宜しくお願い致します。

～謙虚さが無くなる 14 の兆候～

- 1 時間に遅れがちになる
- 2 約束を自分の方から破りだす
- 3 挨拶が雑になりだす
- 4 他人の批判や会社の批判が多くなる
- 5 すぐに怒り出す
- 6 他人の話を上調子で聞き流す
- 7 仕事に自信が出てきて、勉強しなくなる
- 8 物事への対応が緩慢になる
- 9 何事も理論で解決しようとする
- 10 打算的になりだす（損得勘定が先になる）
- 11 自分が偉く思えて、他人がバカに見えてくる
- 12 立場の弱い人に対して強くものを言いがちになる
- 13 言い訳が多くなる
- 14 「ありがとう」という言葉が少なくなる（感謝の気持ちがなくなる）

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

中村友希乃ヴァイオリンリサイタル

平成30年8月11日(土・祝) 午後5時開演

入場者数 48名



〈皆さんの声〉

- ◆全曲良かった。最高の音色でした。テクニック等すべて最高でした。チゴイネルの音色に涙が出ました。非常にいい音色を聞かせていただきありがとうございました。
- ◆イザイとても素晴らしかったです!アートオブヴァイオリンに出てくる好きな曲を通して聴けてとても良かったです!チャイコフスキーも聴けて楽しいコンサートでした。
- ◆1音符の立ち上げから弾き納めも完璧だし、長いスパンの抑揚も豊富に施されていて、各曲の良さが胸に迫りました。
- ◆素晴らしい音色のヴァイオリンを聞かせていただき、うれしく思います。力強く、また伸びやかで美しくそれぞれの曲を充分に表現されて素敵でした。今後の更なるご活躍をお祈りいたします。
- ◆すばらしい会館でのコンサートは、クラシック音楽にぴったりでした。又次回の企画を楽しみにしております。

岸和田文化事業協会より同趣旨をお持ちの団体の方々へ

岸和田文化事業協会では、市民が自主的に創造的な文化芸術活動を支援し、育て、地域文化の振興に寄与することを目的として活動しています。

同じような趣旨をお持ちの団体の皆さんと、膝を交えて忌憚ない意見交換をしていきたいと思っています。

団体と団体を結ぶ役割を担うことも当協会の目的の一つと考え、皆様と話し合っていける場を今後持ちたいと考えています。

ご協力よろしくお祈りいたします。

第5回 自泉Re.フレッシュコンサート

平成30年8月17日(金) 午後6時30分開演

入場者数 40名



〈皆さんの声〉

- ◆こんなに素敵なホールがあるのを初めて知りました。もう少し近ければ 又来たいと思うのですが…。
- ◆とても楽しかったです。出演の皆様にご挨拶を送らせていただきます。
- ◆初めて来させていただきました。ステキなホールに感激しました。出演者の皆さんの心が通じました。素晴らしいコンサートでした。
- ◆今日のコンサートに向けて、皆さん一生懸命練習されたのが良くわかりました。迫力あるピアノ、素敵な歌声にとっても癒されました。ありがとうございました。
- ◆いろいろな方に出演機会を与えることにより、趣味で練習している方により身近に感じられて良い。

琵琶の響き ～平家物語の世界～

平成30年9月29日(土) 午後2時開演

入場者数 115名



〈皆さんの声〉

- ◆初めての経験でしたが、物語に引き込まれ感動しました。
- ◆72歳にして初めて生演奏を聴きました。感激しました。
- ◆素晴らしい会場で初めての琵琶でしたが、期待をはるかに超えるもので感動しました。
- ◆初めて人間国宝の先生のお声に触れ感動しました。気持ちよく体の中に染み込み気持ちよく時を過ごせました。
- ◆いつも教科書で教えていた那須興市。平家琵琶はテープで聴いたことはあったが生は初めてで感動しました。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

お願い

岸和田文化事業協会では取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

2018年10月～2019年1月 今後の事業予定

※予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください

10月26日(金)	第55回自泉フレッシュコンサート	12月15日(土)	第56回自泉フレッシュコンサート
11月3日(土・祝)	旅するマリンバ ～音楽のルーツを訪ねて～(マドカ)	12月15日(土) ～16日(日)	第2回自泉クリスマス会(展示室)
11月10日(土)	講座「城下町篠山市を探る」	12月16日(日)	第2回自泉クリスマス会(ホール)
11月13日(火)	岸和田慢歩 一わが町再発見(1回目)	平成31年(2019年)	
11月23日(金・祝)	研修旅行(篠山市見学)	1月8日(火)	岸和田慢歩 一わが町再発見(3回目)
12月11日(火)	岸和田慢歩 一わが町再発見(2回目)	1月27日(日)	子どもたちによるオペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」

【3面「めざせ!岸和田マイスター」の解答】

1、C 2、A 3、C 4、C 5、A 6、B 7、B 8、C 9、C 10、A

講座「城下町篠山市を探る」

講師：行 龍男(城址保存会 副会長)
 内容：城下町篠山市と岸和田市の歴史
 日時：平成30年11月10日(土) 午後6時～7時30分
 会場：岸和田市立自泉会館ホール
 参加費：無 料(当日、資料代として500円程度必要)
 募集人数：30人まで
 申込受付：9月1日(土)より受付中。定員になり次第締め切り

研修旅行「篠山の歴史と岸和田の未来を 考える旅にでかけませんか」

行 先：篠山市(河原町妻入商家群・御徒士町通りと武家屋敷・篠山城址大書院見学 他)
 日 程：平成30年11月23日(祝・金)
 参加費：岸和田文化事業協会会員 9,000円
 一般10,000円(1,000円は半年分の会費とする)
 ※参加費には、バス代・各入館料・ガイド・食事代・傷害保険料を含む
 定 員：40名まで
 申込受付：9月1日(土)より受付中。定員になり次第締め切り

第56回自泉フレッシュコンサート ～名曲をたずねて～

音楽を学び、プロフェッショナルとして歩み始めた新人演奏家によるコンサート
 日 時：平成30年12月15日(土) 午後6時30分開演
 会 場：岸和田市立自泉会館ホール
 出 演 者：武 絃子(ピアノ)
 森本 美希(ピアノ)
 玉置 華・藤岡 晴佳(ピアノデュオ)
 安井 裕子(メゾソプラノ)
 入 場 料：一般前売 1,200円(当日200円増)
 会員前売 1,000円(当日200円増)

自泉クリスマス会

ホール

日 時：平成30年12月16日(日) 午後1時開演(30分前開場)
 会 場：岸和田市立自泉会館ホール
 1 部：
 ●小学生～大人の一般公募者と事業協会有志による聖歌隊による合唱
 ●第2回自泉ジュニアコンサートで最優秀賞を受賞された粟田 倫平くんと、
 第6回自泉ジュニアコンサートで最優秀賞を受賞された粟田 惇平くん兄弟による演奏
 2 部：
 ●自泉会館を利用している市民・団体による発表
 入場料：1,000円(お菓子付き)

展示室

日 時：平成30年12月15日(土)・16日(日) 午前10時～午後5時
 会 場：岸和田市立自泉会館展示室
 ●教室やサークルの活動紹介とワークショップをします。
 何か始めようかと悩んでいる人はぜひご来場ください。
 入場料：無 料(ワークショップに参加される方は材料費が必要)

子どもたちによるオペレッタ 「ヘンゼルとグレーテル」

公募により選ばれた小学生が、歌・ピアノ・バレエの練習をしこの日を迎えます。頑張っている子どもたちの姿をぜひご覧ください。
 日 時：平成31年1月27日(日) 午後2時開演
 会 場：岸和田市立自泉会館ホール
 入場料：1,000円

岸和田慢歩 -わが町再発見-

以前、当季刊誌に掲載していた「岸和田慢歩」を基に講師と一緒に町歩きに出かけませんか。
 日 時：第1回目 平成30年11月13日(火)
 第2回目 平成30年12月11日(火)
 第3回目 平成31年1月8日(火)
 ※いずれも午前10時～2時間程度
 参加費：無 料(当日、資料代として500円程度必要)
 同行講師：江間 一夫氏
 募集人数：各15名
 申込受付：10月10日より受付中
 定員になり次第締め切り

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで
 TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
 (入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
 (個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
 郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
 加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
 TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle
Fontaine

vol.61

発行：岸和田文化事業協会

発行日：2018年10月25日

◆事務局
 〒596-0073
 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
 TEL/FAX 072-437-3801
 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小島栄子・黒木幸子・小末元恵

編集後記...

心地よい文化の秋を過ごす予定が……台風に振り回された秋となりました。自宅の屋根のことは考えないことにして、楽しい秋を満喫しています。(黒木)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

